

三種混合ワクチンのうち忘れはありませんか？

2014.11.29

12月に入って道南でもインフルエンザの足音が聞こえてきました。すでに本州方面では流行期に入っており、いつ流行してもおかしくない状況と思われます。

従来の三種混合ワクチンに不活化ポリオワクチンが加わった四種混合ワクチンが始まってから二年経ちました。四回の接種を四種混合ワクチンですべてまかなう人がほとんどになり、三種混合ワクチンは需要が激減しました。すでに一社は生産を中止、もう一社は現在の在庫限り、あと一社が細々ながら供給を続けるとのことでした。

三種混合ワクチンで予防できる病気は百日咳、ジフテリア、破傷風です。ジフテリアの発症は日本ではありませんが、百日咳や破傷風は報告がなくなることはありません。このワクチンで得られる免疫は感染によってえることは危険でもあり、ワクチンを接種しなければ病気を予防することはできません。

破傷風菌は土の中の50%にいたるといわれ、その中で小さなけがをした、釘のようなものを踏んでしまった、などを契機として発症するといわれています。

破傷風は死亡率の高い病気なので、罹ってしまうと死に至る病なのです。現在の発症者の多くは成人ですが、共通しているのはワクチンをしっかり受けていなかった人と報告されています。

現在、インフルエンザのワクチンを多くの方がしようと思ひ医療機関を訪ねていると思います。私のところでもインフルエンザワクチンの時に多くの三種混合ワクチン未接種者を見つけているのが現状です。三種混合ワクチンは七歳半まで無料で接種することができます。途中で終わっていても最初からやり直す必要はありません。どうかもう一度母子手帳を見直して、接種漏れがないかどうか確認をしてください。インフルエンザワクチンとの同時接種も可能ですので、かかりつけの先生と相談して早めに終わるようにしてください。